

※Art journeyからネーミングした「えいじやに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

令和6年度、文産会館は公演を通じて「湖北」の魅力をより一層、発信します!

当館は開館以来、湖北地域の魅力や資源を活かした公演活動を行ってきました。令和3年度には、地域資源である伝統文化の普及・振興に貢献したとして「地域創造大賞」を受賞しました。本年度は、更に「湖北」の魅力を伝えられるよう取り組みます。

令和6年度「湖北」の魅力発信のための主な事業

① 芝居小屋「長栄座」公演 湖北百景－風雅の竹生島

令和6年度から、芝居小屋「長栄座」公演は、3年計画の新たな企画がスタートします。その名も「湖北百景」と題し、湖北の魅力を県内外の方に更にお伝えしたいとの願いから毎年一作品を制作していきます。

日時 7月27日(土)・28日(日) 両日とも14:00開演
会場 イベントホール内特設舞台「長栄座」

3年間の流れ

- 令和6年度 「竹生島」(日本舞踊×落語)
令和7年度 「羽衣」(能)〈予定〉
令和8年度 「十一面観音」(声明)〈予定〉



② 滋賀県次世代育成ユースシアター 邦楽ミュージカル 「近江むかしがたり」

令和5年12月に、近江の様々な民話や昔話を盛り込んだ、邦楽ミュージカルを上演しました。オーディションや30回にも及ぶ稽古を経た子どもたちの熱演は記憶に新しく、また近江の魅力が詰まった物語に大好評を得ました。今年度も続編を創作します。

日程 12月15日(日) 時間 14:00開演 会場 イベントホール

(アンケートより)

- 丁寧な舞台で、美しい場面がたくさんあり驚きました。様々な年齢の出演者で、この地域の物語に取り組みられたことが素晴らしいと感じました。静かに物語が流れ、奥深い。素敵な地域ですね。
●雪や螢の演出やお芝居の出来は見応えがあった。方言も心地よく一体感も素晴らしく、練習が大変だったろうと感服しました。天女の切ない歌声にも聞き惚れました。

昨年の公演の様子



③ 北の近江振興プロジェクト 北にきゃんせ音楽会

今年度から始まる新企画。当館で養成した、滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」が、県北部の各地を訪ね、ミニコンサートやワークショップを行います。小劇場でも地域の魅力を映像と邦楽の音色で紹介する演奏会を開催します。

※「きゃんせ」とは県北部の方言で「いらっしやい」という意味

〈出演者〉 滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」 片岡リサ(箏奏者) 吉澤延隆(箏奏者)

〈演奏会〉 日時 9月21日(土) 14:00開演 会場 小劇場



④ 和のじかん

県内の小・中学校に邦楽アーティストが向かい、教室等で演奏を行うアウトリー事業です。長浜市木之本町が和楽器弦の産地であることにも触れ、邦楽を通じて地域の魅力も知るきっかけになればと考えています。

日時 10月～令和7年2月 会場 滋賀県内の小中学校



邦楽だけでなく、吹奏楽も!!

吹奏楽団 「シエナ・ウインド・オーケストラ」(SWO) と連携・協力協定を締結しました

コロナ禍の令和2年10月に観客と共演するSWOのコンサートを当館で開催以来、絆が深まり、連携・協力協定を令和5年12月1日に、締結しました。当館は、これまで邦楽や邦舞をはじめとした古典芸能の次世代育成に力を入れてきましたが、吹奏楽でも新たな試みを始めます。



連携・協力協定会見の様子 「佐渡×シエナ」(令和5年12月10日公演)

〈12月1日 会見コメント〉

竹村憲男(滋賀県立文化産業交流会館 館長)

湖北地域の皆様はじめ次世代を担う青少年に良質の音楽に触れていただく機会の創出を持続的に行うため、普及プログラムや演奏会で数多くの実績をお持ちの日本を代表するSWOと、連携・協力協定を締結する運びとなりました。具体的な事業としては、中学校・高等学校の吹奏楽部や県吹奏楽連盟と連携しながら、毎年、楽器の取り扱いや演奏技術など初歩からのクリニックとアンサンブルの演奏会などを考えています。

高澤芳郎(SWO事務局長)

青少年の育成は一度の公演ではできず、「継続する」ことが重要です。ホールの事業担当もオーケストラの事務局も代わっていく中で継続して事業を行うには、連携協定を結び未来の約束をすることが大切だと思い、様々なところで連携協定を結んでいます。

SWOの活動拠点は東京ですが、米原は新幹線が止まり日帰りも可能なため、吹奏楽部へのクリニックなど手軽に行うことができます。これらの協定を通して地域振興に繋がれば嬉しいです。

佐渡 裕(SWO首席指揮者)

米原の文産会館を中心に、吹奏楽を通じた青少年の育成や、地元に着目した活動を展開していくことで期待が膨らみます。活動を共にやってきたSWOを協定のパートナーに選んでいただけたことをとても誇りに思います。この協定により、SWOがこの街の楽団として地域社会の皆さんに心のビタミンを届けられるように、そして豊かな街づくりの一翼を担ってくれることを願っています。

小幡 理(滋賀県吹奏楽連盟 理事長)

文産会館は芸術分野において滋賀県、とりわけ北部地域での牽引的役割を担い、特に音楽文化に対しては積極的にその手腕を発揮し、愛好家の側に立った事業展開をされています。少子化や働き方改革、部活動の地域移行等により全国的に減衰傾向にある吹奏楽文化を盛り返す一助になることは間違いありません。そして将来的にはこの協定が先駆けとなり、同様の動きが全県に広がり大きなうねりとなることを期待しています。

令和6年度 文産×シエナの事業

「シエナ☆セブン」クリニック&コンサート ~滋賀ぶんさん やってみよう!吹奏楽シリーズ vol.1~

中学生を対象とした楽器クリニックを開催します。また、SWOの精鋭メンバー7名によるソロ演奏からフルメンバーによる編曲版「ボレロ」まで、スペシャルプログラムのコンサートもお贈りします。

〈楽器クリニック〉 フルート、クラリネット、サクソ、トランペット、チューバ、パーカッション 各10名
日時 6月9日(日) 10:00開始
対象 中学生(県内在住・在学)
料金 無料(チケット購入者)
〈コンサート〉 日時 6月9日(日) 14:00開演
会場 イベントホール
入場料 一般1,000円 青少年(24歳以下)500円 [自由席] ※6歳以上入場可
要事前申込(4月6日(土)開始) チケット発売 4月6日(土)

滋賀県アートコラボレーション事業

第13回 オーケストラ・ムジカ・チェレステ 演奏会 -ラストコンサート-

日野町で2000年に誕生したオーケストラ・ムジカ・チェレステのラストコンサート。指揮は篠崎靖男、ソリストに久末 航を迎え、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番、そしてメンデルスゾーンの交響曲「イタリア」を演奏します。今回は日野祭の囃子を題材にした新曲を作曲家 中村典子さんに委嘱して初演します。

日野祭

日時 7月28日(日) 14:00開演
会場 日野町町民会館 わたむきホール虹(蒲生郡日野町松尾1661)
出演 指揮:篠崎靖男 ピアノ:久末 航
管弦楽:オーケストラ・ムジカ・チェレステ
料金 一般3,800円 18歳以下2,000円
お問合せ TEL.0748-53-3233



オーケストラ・ムジカ・チェレステ

季刊誌 湖国と文化 第187・春号 特集 湖国のトレイル~山の過去・現在・未来を歩く

湖国はぐるっと山の国。近年、従来の山登りではなく、山々の自然、文化、歴史、暮らしの連なりを楽しみながら歩く「トレイル」が注目されています。特集では、そのうち、比良比叡トレイル、高島トレイル、伊吹山、鈴鹿10座の魅力と楽しみ方をお伝えします。加えて、大昔(白亜紀後期)の巨大カルデラ跡である湖東平野の低山とその山麓の歴史遺産をつないで歩く「湖東カルデラトレイル」



「湖国と文化」187号

の新たな提案、さらには「わたしだけのトレイル(テーマをもった山歩き)」の楽しみをお届けします。執筆陣は、湖国の山に長年かかわり続けてきたエキスパートたちです。

また、今、大注目の伊勢遺跡(守山市)の新連載が始まります。弥生期に突如現れ、忽然と消えた全国的に稀有な大規模祭祀遺跡はいったい何なのか。日本の古代の謎を解くカギともされるロマンを秘めた遺跡を、長年実際に発掘に携わり続け、研究を続ける方たちが読み解きます。

4月1日発行予定
〈販売価格〉 660円
〈取り扱い〉 県内書店、びわ湖ホールシアターショップ、滋賀県立文化産業交流会館 など
〈お問合せ・購入申込〉 (公財)びわ湖芸術文化財団 地域創造部「湖国と文化」編集室 (TEL.077-523-7146)

※冬号「紫式部と近江~物語の誕生」も好評発売中。

